

(3) 保養施設

ア 施設概要

高齢者や身体障害者をはじめとした市民の憩い・交流の場として「リフレッシュ交流センター（ほっと館）」を、地域の自然を生かし、市民の休養と交流を深める場として「雄勝自然休養村管理センター」を、農業者の所得向上と若者の定住促進、余暇活動の一環として「皆瀬休養施設」を、高齢者の健康増進の場として「稲川老人福祉センター緑風荘」を設置しています。

施設No.	施設名称	所在地	地区	所管課
養1	リフレッシュ交流センター（ほっと館）	下院内字田用橋84	院内	観光・ジオパーク 推進課
養2	雄勝自然休養村管理センター	秋ノ宮字殿上1-38	秋ノ宮	
養3	皆瀬農業者等休養施設	皆瀬字小湯ノ上79-3	皆瀬	
福7	稲川老人福祉センター緑風荘【再掲】	駒形町字八面寺下谷地22-1	駒形	長寿福祉課

イ 現状と課題

施設No.	施設名称	建築年	法定耐用年数	経過年数	延床面積(m ²)	運営形態	職員数	支出(千円)	収入(千円)	利用人数
養1	リフレッシュ交流センター（ほっと館）	H9	22	22	783	指定管理	—	19,904 38,983	— 38,995	56,700
養2	雄勝自然休養村管理センター	S56	50	37	391	直営管理	—	4,658	—	—
養3	皆瀬農業者等休養施設	S60	47	33	401	指定管理	—	6,253 7,903	— 7,505	2,100
福7	稲川老人福祉センター緑風荘【再掲】	S57	47	36	718	直営管理	再1, 非5	29,432	11,681	51,300

※支出・収入欄の2段書きのうち、上段は市、下段は指定管理者の収支額

養1 リフレッシュ交流センター（ほっと館）

木造平屋建て、延床面積783m²。平成9年に新耐震基準で建設し、建築から22年経過しています。

開館日・開館時間は、年中無休で、5時から22時まで利用でき、管理運営は指定管理で行い、指定管理者が支出する管理運営費は38,983千円で、指定管理料18,500千円のほか施設利用料14,172千円（温泉の利用料：大人300円、小人（小学生以下）250円、高齢者（65歳以上）・障がい者250円※入湯税を除く）など合計38,995千円の収入があります。市は指定管理料のほか修繕料で19,904千円を支出しています。

施設は、男性浴室、女性浴室、広間（3室）などで構成し、地域住民の憩いの入浴施設として使用され、年間約56,700人が利用しています。

養2 雄勝自然休養村管理センター

鉄筋コンクリート造2階建て、延床面積391m²。昭和56年に旧耐震基準で建設し、耐震基準を満たしておらず、建築から37年経過し施設・設備の老朽化が進んでいます。

施設は、男性浴室、女性浴室、総合研修室、研修室（5室）、会議室で構成していましたが、利用者の減少のため平成27年度で閉鎖し、現在は、県有の温泉施設への温泉供給のための経路施設としての役割を担っています。管理運営は市直営で行い、管理運営費は4,658千円となっています。

養3 皆瀬農業者等休養施設

鉄筋コンクリート造平屋建て、延床面積401m²。昭和60年に新耐震基準で建設し、建築から33

年経過し施設・設備の老朽化が進んでいます。

開館日・開館時間は、月曜日を除く毎日、10時から16時30分までで、管理運営は指定管理で行い、指定管理者が支出する管理運営費は7,903千円で、指定管理料6,250千円のほか施設利用料1,233千円（温泉の利用料：大人510円、中学生360円、小人210円）など合計7,505千円の収入があります。市は指定管理料のほか建物保険料で6,253千円を支出しています。

施設は、プール、男性浴室、女性浴室、広間（3室）等で構成していますが、プールは平成30年から閉鎖し、浴室や広間等を活用して地域の社会福祉団体による介護予防事業や生涯学習セミナーで使用され、年間約2,100人が利用しています。

福7 稲川老人福祉センター緑風荘【再掲】

※施設概要は7（1）高齢福祉施設を参照

ウ 今後の方針とスケジュール

公共施設等総合管理計画の今後の方向性に基づき、「施設の安全性」、「施設の必要性」、「施設の有効性」、「管理運営の効率性」の視点から検証し、分析・評価を行いました。また、分析・評価を踏まえて、施設の対応方針を定めました。これらの内容は次のとおりです。（分析・評価結果は資料編を参照）。

【基本的な考え方】

- 温泉施設は、当面、継続するものの、市内に多数の民間施設があること、設置目的が住民の健康増進のための役割に加え、観光振興施設としても寄与していること、施設・設備の老朽化に伴う負担が増大し、全てを継続していくことが難しいことなどから、利用実態と経営状況を精査・分析し、近隣に同種の民間施設がある場合や施設の役割を終えた場合は、廃止します。

【個別施設ごとの対応方針】

養1 リフレッシュ交流センター（ほっと館）

- 平成9年に新耐震基準で建設した建物であるものの、施設・設備の老朽化が進んでいます。当面、必要な修繕を行い継続使用しますが、周辺に民間の温泉施設があることや、市民保養施設・観光施設としての利用実態、今後の設備等の更新費用等を踏まえ、改修が必要となる時期を見据え、施設の必要性を含めて今後のあり方を検討します。
- 管理運営は、当面、指定管理者制度を継続しますが、行政の役割を明確化するとともに、今後の経営のあり方、収支のあり方について関係団体と協議します。
- 利用料について、他の公共施設や民間施設の入浴料金の状況等を精査し、負担の公平性の観点から、受益者負担の適正化を図ります。

養2 雄勝自然休養村管理センター

- 現状休止状態にあり今後も利用の見込みが無いこと、雪崩れ危険箇所に含まれていること、近隣に民間の温泉施設があること、施設も耐震基準を満たしておらず老朽化が著しいことから廃止します。

養3 皆瀬農業者等休養施設

- 皆瀬農業者等休養施設の温泉機能については、周辺に民間の温泉施設が多数あり、代替機能が確保できること、老朽化が進み設備の更新を控えていることから廃止します。あわせて、地域住民の活動の場の確保について検討します。

福7 稲川老人福祉センター緑風荘【再掲】

- 耐震基準は満たしているものの、老朽化が進み、機械設備や内装等の大規模な改修が必要な時期を迎えることから、今後のあり方について、必要性を含めて検討します。
- 当面、市の直営管理としますが、施設のあり方を検討する中で、民間事業者への指定管理や譲渡等について検討します。
- 利用料について、他の公共施設や民間施設の入浴料金の状況等を精査し、負担の公平性の観点から、受益者負担の適正化を図ります。

【年度別スケジュール】

項目	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度～2030年度 (R7)～(R12)
リフレッシュ交流センター(ほっと館) 稲川老人福祉センター緑風荘【再掲】	→		-----		-----	
	受益者負担の適正化の検討		検討結果に基づく対応			
リフレッシュ交流センター(ほっと館)	→					
	→		必要な修繕を行い継続使用		→	
	改修の時期を見据え施設のあり方を検討		検討結果に基づく対応			
雄勝自然休養村管理センター	→		●			
	県有の温泉施設への給湯のあり方の検討		廃止			
皆瀬農業者等休養施設	→	●				
	地域住民の活動場所の確保		廃止			
稲川老人福祉センター緑風荘【再掲】	→		-----		-----	
	経営状況の精査、今後のあり方検討(継続使用の場合、経営手法の検討)		検討結果に基づく対応			

エ 概算事業費と効果額

単位:千円

施設No.	施設名称	今後の方向性		更新費用の試算(40年間:令和2~41年度)						維持管理費	
				現状維持した場合			本計画を実施した場合			単年度の比較	
		建物	長寿命化	大規模改修	建替	合計	長寿命化等大規模改修	建替	合計	現状維持	計画実施
養1	リフレッシュ交流センター(ほっと館)	検討		156,642	281,956	438,598	0	0	0	19,904	19,904
養2	雄勝自然休養村管理センター	廃止		78,200	140,760	218,960	0	0	0	4,658	0
養3	皆瀬農業者等休養施設	廃止		80,266	144,479	224,745	0	0	0	6,253	0
概算事業費(合計)				315,108	567,194	① 882,302	0	0	② 0	③ 30,815	④ 19,904

更新費用の試算比較 ②-①	単年度の維持管理費の比較 ④-③
△ 882,302 千円	△ 10,911 千円

※ 更新費用は、本計画策定年度の令和2年度から起算して40年間に必要となる大規模改修費用及び建替費用の試算額です。

大規模改修費用:20万円/m²、更新(建替)費用:36万円/m²(総務省が提供する単価)

※ 維持管理費は、直近(平成30年度)の施設維持管理に係る年間の支出額です。

※ 端数処理の関係上、合計と一致しない場合があります。